

「令和の日本型学校教育 千葉市型」の構築を目指して

—自立した学習者を育てるための6つのアプローチから—

7 成果

従来の「日本型学校教育」の課題は千葉市にもあてはまる。これらには早急に対応し、解決していかなければならない。しかし、学習指導要領が変わったことで学校現場の授業は大きく変わったのだろうか。今こそ教職員の意識改革を図り、授業をはじめとした学校教育の質を高めていく必要がある。そのような考えのもと、6つの研究を進めてきた。各研究結果から得られた「自立した学習者」育成のための手立ては以下のとおりである。

①授業改善に関する研究

子供の視点に立ち、メタ認知を促す7つのポイントを授業設計に取り込む。

②ICT活用に関する研究

課題を見付け、自ら課題解決をするためのツールとして活用できる、効果的な学習場面を設定する。

③デジタル・シティズンシップ教育に関する研究

インターネットという社会基盤利用に関する価値判断や行動力の育成に効果的な指導事例を実践する。

④教育相談に関する研究

適切なアセスメントを実施することで、不登校を未然に防ぎ「つながる」関係づくりを促進する。

⑤教職員研修に関する研究

教職員が子供の主体的な学びを支える専門的な資質・能力を高めることができるよう、効果的に育成指標を活用していく。

⑥教育課程に関する研究

「校内研修プログラム」を利用しながらカリキュラム・マネジメントに対する理解を深めるとともに、その中心的校内推進者を育成し支援する。

これらの手立てを「令和の日本型学校教育 千葉市型」として学校現場で取り入れていくことで、本市の子供たちが「自立した学習者」となることを目指していく。

8 課題

各研究において学校現場で活用できるポイントやプログラム等を示すことができたが、検証という点では不十分である。今後実際に実践することを通して改善していく必要がある。また、デジタル・シティズンシップ教育のカリキュラム構築などさらに作成すべきものもある。今後の課題としたい。

9 おわりに

本研究で示した6つのアプローチは「自立した学習者」を育成する上でどれも必要不可欠であり、有機的に結び付いているが、どの部分からでも始めることができる。例えば「個別最適な学び」は授業形態だけを問題にしているわけではなく、「こうすれば個別最適な学びになる」といった方法が決まっている訳でもない。ここに示したポイントや指導事例、支援策などをもとに、学校や子供の実態に応じて、誰もが今できるところから少しずつでも取り組むことが「主体的に学習に取り組む態度」「自立した学習者」の育成につながる。「千葉市型」はこのような小さな一歩をスタートとして、本市全教職員で構築していきたいと考えている。

【研究組織】

○通年講師 植草学園大学 非常勤講師 堀米 宏
 ○所内担当 【教育研究班】 鳥羽 波峰 (担当) 金子 礼明 大久保 桂 井上 誠
 【情報教育・広報班】 中村 雄司 【教育相談班】 福永 真弓
 【教職員研修班】 松村 順

【主な引用／参考文献等】

- ・文部科学省『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)」2021
- ・奈須正裕「令和の日本型学校教育」内外教育 2022 4月26日
- ・中島雅子 松本伸示「構成主義に基づく概念の形成過程を重視した授業のあり方」理科教育学研究 VOL54, No. 2, pp215-223 (2013)
- ・岡本真彦『熟達化とメタ認知—認知発達の観点から—』日本フェジイ学会誌 VOL13, No. 1, pp2-10 (2001)

千葉市教育センター 研究紀要第31号

○研究名：「令和の日本型学校教育 千葉市型」の構築を目指して ○研究対象：小・中・中等教育・特別支援学校
 ○研究領域：教育研究 ○研究内容キーワード：令和の日本型学校教育、千葉市型、自立した学習者、主体的に学習に取り組む態度、メタ認知

「令和の日本型学校教育 千葉市型」

千葉市で目指す子供の姿
自立した学習者

他の人と議論し、自分の意見と比較して、よさを取り入れることができる

自分が何がわかって何がわからないかがわかる

粘り強く学習に取り組む

わかるために自分で計画を立て、学びを進める

授業からのアプローチ

1 授業改善
「自立した学習者」を育成するための授業の具体的な在り方

7つのポイントで
子供目線の授業実現！

メタ認知能力の育成



2 ICT活用
自ら課題解決をする(=「自立した学習者」)ためのギガタブの効果的な活用

7つの場面で
ギガタブの効果的な活用！

情報活用能力の育成



3 デジタル・シティズンシップ教育
責任をもってデジタル技術を活用していく(=「自立した学習者」)子供たちの育成

子供の主体性を育む
指導事例の実践

価値判断・
行動力の育成

授業を支える教職員・教育課程からのアプローチ

4 教育相談
子供たちが自己理解できる(=「自立した学習者」)支援の具体策

「つながる」ための
APDCプロセスの実践

計画的、継続的に
チーム支援



5 教職員研修
「自立した学習者」を育成するための教職員の資質能力の向上

学びのマネジメント力
向上プログラムの推進



学び続ける教職員

6 教育課程 (カリキュラム・マネジメント)
「自立した学習者」を効果的に育成するための、カリキュラム・マネジメントの進め方

校内推進者、管理職向けの
カリキュラム・マネジメント講座の実施

授業改善、学校運営の
活性化

